



つながぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和8年3月6日

第73号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

中学校の先生の専門的な指導を小学4年生が受ける ～第三中学校区 音楽科乗り入れ授業「箏の体験授業」～

2月26日（木）に第三中の音楽科の先生が第一小の4年生への乗り入れ授業を実施しました。授業内容は、「日本の楽器をたずねて～ことのみりょく」の学習でした。子どもたちは初めて演奏する「箏」の音色や感触に目を輝かせ、「やったぁ、できた！」と歓声があがる等、とても意欲的に学習に取り組んでいました。第三中学校区では、中学校登校時の授業体験の他に、小学生が中学校の先生の授業を受けることができる乗り入れ授業を毎年実施しており、今年度は事前に中学校区の先生方同士で和楽器の指導方法について学び合う取組も行いました。尚、いずみ野小は暴風雪による臨休のため、期日を3月に変更して実施予定です。



「箏」の演奏方法を学ぶ

登校から下校まで中学校生活を体験！ ～第二中学校区 3回目の中学校登校～

第二中学校区で今年度最後（3回目）の小学校6年生のための中学校登校が行われました。第二中学校区では、「小中の接続を円滑にし、中一ギャップをなだらかにする。」「中学校の教室などの環境や生活スタイルに慣れる。」「小学6年生の進学に向けた意識を少しずつ高める。」「小中の教諭が一体となり、互いの児童生徒の様子を交流する。」の4つの目的で中学校登校を実施しています。

今回は、間近に迫った4月の入学に向けて、登校から下校までの中学校の1日を体験しました。学習時間は、英語科、社会科、理科、数学科の4教科の授業を受け、中学1年生と合同の総合的な学習の時間の活動も行いました。他にも給食を食べたり、保護者と一緒に説明会に参加したり、中学校の休み時間を過ごしたり等、様々な体験をしました。

説明会では、中学校の校長先生から、「学ぶことで自分の世界が広がる。学ぶことで判断ができるようになる。学べば学ぶほど自由になれる。中学校生活で自分の可能性を広げてほしい。それを全力で応援する。」とエールをもらい、



小6中1合同の総合的な学習の時間



英語科の体験授業

子どもたちは入学に向けての意欲を高めていました。

【子どもたちの感想】

- 中学校に行き、もちろん小学校とは全く違うので、いきなりこうしろって言われたら少し厳しいから、なれるために中学校登校があるんだなと思いました。中学校では規律がすごく守られていて小学校とは全く違いました。だからこそ、今のうちからしっかりするようにしようと思いました。
- 中学校登校は、これから中学生になることの意識を高めたり、あと30日までにできることや、やらなくてはいけないことを考える機会なのだなと思いました。3回の中学校登校を終えて、小学校で習ったことは当たり前となるのだなと思いました。中学校では校則などが小学校とは大幅に変わるので、今のうちから、小さなルールでも守れるようにあと30日間で努力しようと思いました。

小学校に早く行きたいな！ 幼保こ小連携の取組 ～「認定こども園あけぼの」との交流 対雁小～

対雁小に「認定こども園あけぼの」の年長児36名が来校し、小学1年生の授業参観や小学5年生との交流を行いました。授業参観では、国語科や算数科の学習の様子を1年生の子どもたちの近くで見学しました。園児たちは、大きなディスプレイに映し出された学習問題や1年生が発表したりノートに書き込んだりしている姿を興味津々の様子で見っていました。1年生の子どもたちは、先生や友達の話聞く、意見を発表する、友達と対話をする等、どの活動もお手本となる態度で学習に臨んでいました。

5年生との交流では、事前に小学生が実行委員会を作って企画・準備してきたゲームやドッジボールを行いました。5年生の子どもたちは、招待状を作って送ったり、対話やスキンシップが自然と生まれるようなゲームを準備したり、園児たちが楽しくドッジボールに参加できるようなルールを考えたり等、相手のことを思いやりながら活動していました。そのおかげで、こども園の子どもたちは、笑顔いっぱい生き生きとゲーム等に参加することができました。

今回の交流は、昨年12月に開催された「江別市幼保こ小連携合同研修会」の教員同士のグループ交流の際の話し合いから生まれた取組で、園児にとっても小学生にとってもよい取組となるようにと、双方の先生方が前向きに考えて実現させたものです。

当日の子どもたちの様子を見ると、「園児が1年生の授業を参観することによって、小学校生活への見通しが立てられるような場を提供する。5年生が園児と触れ合うことによって、来年度最上級生になる気持ちを高めさせる。」というねらいを十分に達成していると実感できました。今回の実践は、子どもたちの学びと育ちを中心に据え、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図る好事例の取組となっています。



1年生の授業を参観



ゲームで楽しく交流



ドッジボールで盛り上がる